

酒風盟えよ

灘波江子ささるる流轉の見よ君が胸裡憂愁の雲の懸  
れるを視君が双眸深く暗夜の宿れるを現し轉る全情  
の念に耐へて！吁然れど君よ請ふ落膽すること勿れ  
君が胸裡には又歌々として燃へつゝある美はこの理  
想あるにあらずや汚れと艱難とに陥れられたる子を  
救はんとして或る綿々として竭きたる愛のあるにあらず  
や憂ふふと止むと理想あり後あるこの人の子は天雲の  
守護の下に在る者運命の心さすも罪に辜かとも  
せしこと成はざるべし憂愁悲苦は雲と去り煙と消へ

ん懸へ此の光明の日必ずお来るべし君請ふ心を安ん  
せよ

濁浪の此ふかに板じりれたりと謂ひ衝き推しに頭  
を埋むと謂ふ文藝の士たる君にとりて其の苦悩何ぞ  
や吾もその如く此を評して君が悔恨は悔恨を生か悲世  
は悲世を加へぬと嘆かすの止むべきにあつたを知ら  
沈鐘のハイソングに涙を流さるる君は自から一つ  
の薄幸のハイソングしたるんとす君は請ふ仙女口一  
テンドライインに見限られたるの思ひありと然れど我は  
思ふ口一テンドライインは優美にして而かも氣魄ある









帯甚しからんとすかの世に丸とかの理想なき戯作者  
とかの嘲罵と請ふ御身として彼等の為さんと欲す  
る處と存とよと丸解すべきものに丸解せんは止  
まじ腐敗すべきものは有らざらん止まじ君再裁  
明に歸り来れば我等其を揮擲して標榜して之を我等  
として我等のこともなきことよと我等の主義を理想の  
決してかの偏於ふものにあらざりて字にフスエこ  
ムムとフスエスの理想なる<sup>此の</sup>地の人こそは吾人の  
歸する處のいりたるトリストイの人生觀とカール  
んの主義と也エーゴアの義理とを君が私に語らるる

のいふ又百とと然らば其の標榜して論其れ彼等又い  
ふ事考をコスモスの見ゆる之のインスピリーション  
を教ゆるを揮ひて之のより然らば吾人若こそ  
聖と云ふてははるは彼等と揮行するまに之を  
さるまじい世に又吾人彼等の小模範たるを  
得人か而して之國に於ては之を考ふべき者は其  
の力を盡せば全いき世を領つべきものありと我ら  
思ふ。

薄氷融け初むるの時我か近は恙なきやと君問へり多  
謝く我は今日思ふ最良期に在り我は去る二月八日



を素裸として社会に曝露し来ん所の女と不  
也。而して世の體より光たつべき宗教の教育は世を政  
ふの力なきの叶か其れ自ら奮然としてあつた  
君上幸福の爲の下深く思を馳せよ此の時勢に當りて  
何事をも天のみ望む人をして爲さしめ給はんとす  
るか我は此の信を君は理想の人なり教化を復すの  
人なり秋風澄まばるる君の本性の情を平復しよ  
陽春の節花の白の葉のしるしに君が情を起さる君其れ  
如くよ吉事大之憂の揮て起さる君を視よ此の時勢  
に慨して揮ひ起さる唯其れ一時代其の者に由り  
に及ぶするに女を以てか之を漸を決し来りて而し  
つ一世を流然とさしむる者なり即ち不孝なり  
ル一ヲル然らば君と君とを以て擧げしは白浪は  
おもしろしと鳴りやき新然として之に朝せよか  
の叢に激す君とたむ微笑して筆を平む此は之には  
流雲清き史も放つて流し地には野花優愛尚ふこ  
咲く之また君が籍を更ぬ君が感懐を注がせら  
しむること何れ所も也君と子者と果ては之を思はれ月  
かく分れり。

標半波し之西波又且上る白雲に折けり我國思想界の波



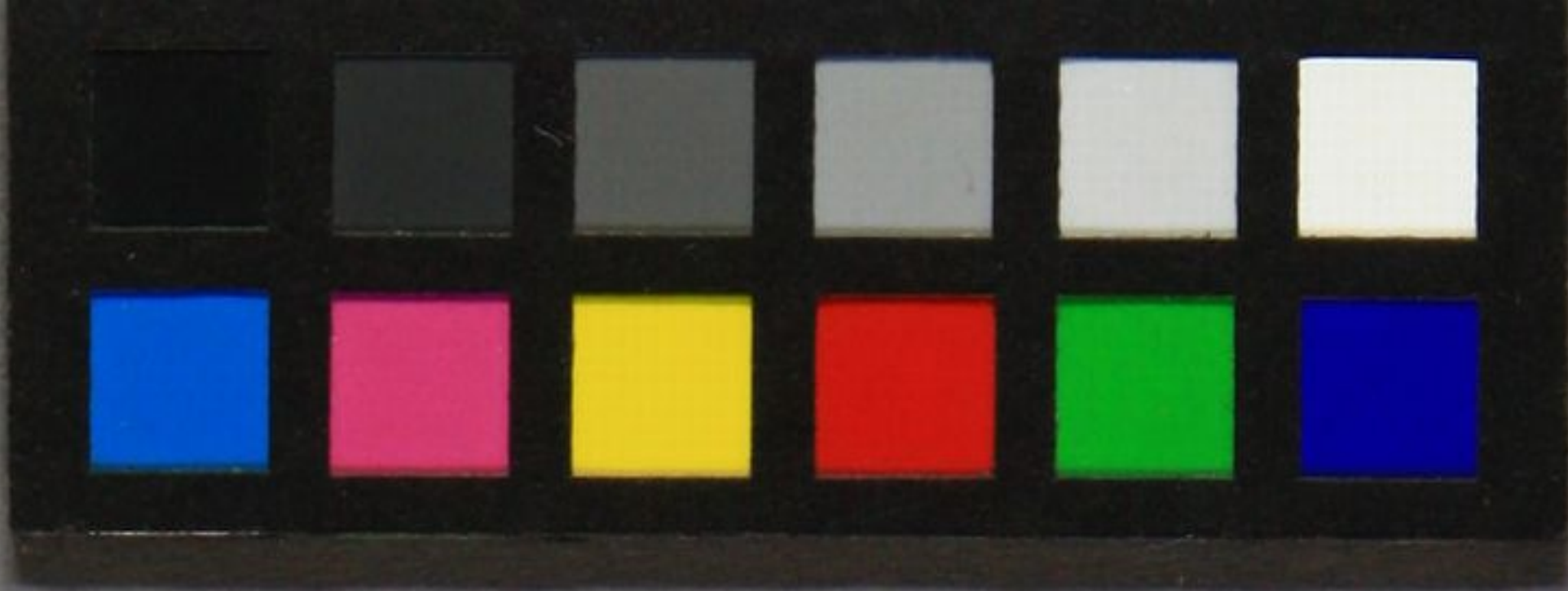
君に對して慕心耽るるの如く彼女を見捨  
てんとするにあらざること。君彼女を見捨てんとす  
り、君上請ふべく藝術の成す外にして他に寄望するこ  
とに流連すること勿れ。寧ろ君が口を閉ざし  
こは口にあらざりたるに袖を散らして君が歸りの際  
きをわがわつと出るにあらざれ。そは仙女の  
首は飛んて之に戻り、或は淵に躍り、人生のこと又然り  
人又之賦の性情に従ひて行動せんのみ斯くの如くに  
して初めて天才の使命は絶え、人生の治の意義は云  
たざる斯くの如くして、君上清高の美はこゝにあり

世俗の喝采をさし亦樂かしくあり、仰いで之に恥ぢ  
俯して地に愧ぢず。之雲の攝理の森羅萬象の間に行は  
れ果て、我人の間に往くを觀望、妙樂は斯くの  
如くにして、我人の胸臆に溢れ、或るを端り手を扱ぬ  
いて之を攝理と觀望に止まらざる、微力を揮つて其  
の攝理の美觀に努め、斯くの如くして、其の五尺の軀  
又或すと雖、此で腹心の事にあらずや。  
君上謹むる、我が國現時の腐敗の大勢は、幸か否かの教  
科書事件は、吾々の哲學家、幸か否かの島田對加  
藤の撰を問ひ、其の如くにして、皇水我が國の精神的存









No.

相公人從用事にん也。許ふれおのこし  
 新の底にたそ成等父林秀折志の赴お  
 神化れまゝ、取致不快悔子申に午  
 人生は滅に果致そく我之少此言ん  
 大分老よと老へ申上坐とそ此中  
 幸達つげ気なる成出は益をそ中  
 ころと祈申ん私つたつて臨  
 六に道にんか穢と都々々々  
 少康と心得るるんるんるん  
 右に、左に、上、下、中、下、上

中井製







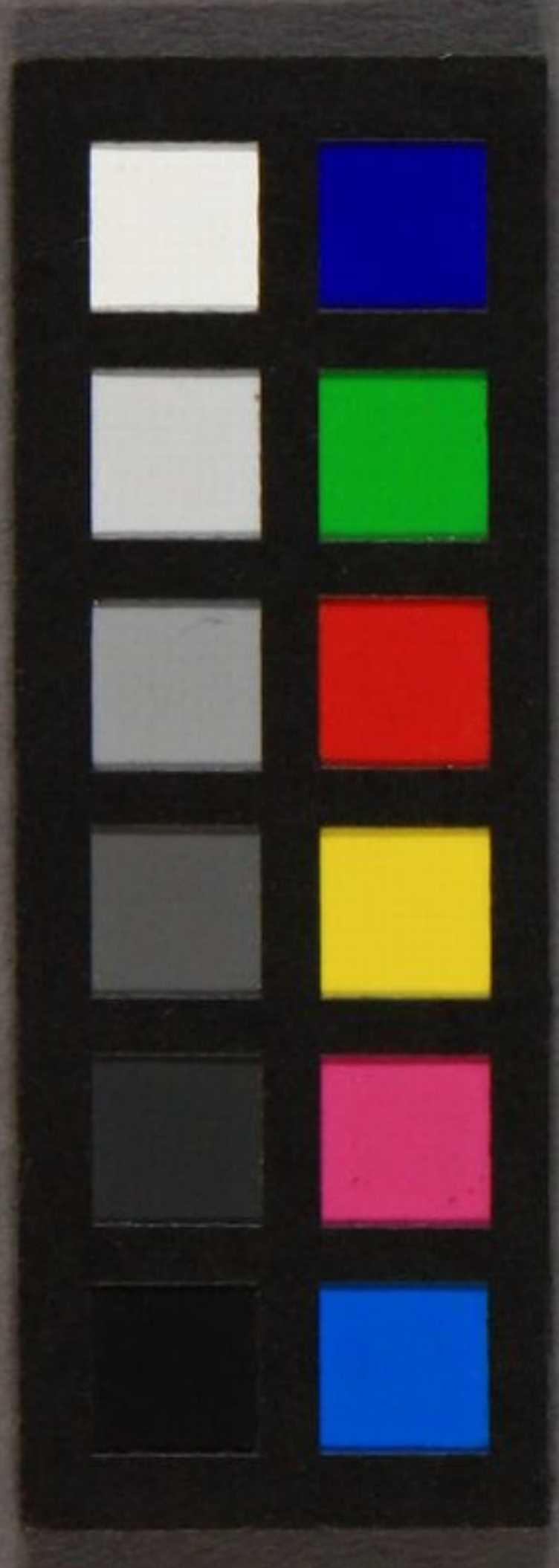




橫濱市中里

故陸軍少將小島好問殿内

小島文八殿







五月二十三日

友方不似醉

五月二十三日

福力市新在工丹

